

ピーマン疫病抵抗性台木用品種

一代交配 「ベルホープ」

母親に雄性不稔系統を利用し、「ベルホマレ」と同等の疫病抵抗性及び

TbMV(トバモウイルス)抵抗性・接ぎ木適正が優れる台木専用品種です。

長野県野菜花き試験場育成

(旧中信農業試験場育成)

【育成経過】

長野県中信農業試験場で昭和 58 年に疫病抵抗性を有する「ベルホマレ」が育成され、現在、広く利用されている。

「ベルホマレ」の後継品種として、「ベルホマレ」と同等の疫病抵抗性、トバモウイルス抵抗性を有し、接ぎ木個体の収量性に優れる台木用 F 1 品種「ベルホープ」が、平成 19 年 3 月品種登録・命名された。

【特徴】

- ・ 疫病と TbMV(トバモウイルス)に抵抗性を有する。
- ・ 接ぎ木活着率が高く、「ベルホマレ」台と比べ、開花日、草丈、総収量は同等。
- ・ 上物収量及び上物率が高く、接ぎ木適応性が優れている。

【栽培上の留意点】

- ・ 台木利用する場合の穂木品種との親和性及び栽培特性等は、「ベルホマレ」台と同様。
- ・ 穂木品種はトバモウイルス抵抗性遺伝子として L1 を持つ品種を利用する。
- ・ 疫病抵抗性品種ですが、疫病は穂木に直接感染することがあるので、土耕栽培では、水や泥の跳ね上げを防止するためマルチングを行う。
- ・ 菌密度を高めないよう他の耕種的防除も併用する。
- ・ 青枯病に対する抵抗性を持たないので、青枯病の発生地では使用しない。
- ・ 「ベルホープ」そのものでは、果表面がやや乱れるので、生食用には不向きです。

「ベルホープ」の台木適応性検定 (育成地：2000～2003 年平均)

台木 品種・系統	接ぎ木 活着率 (%)	開花 到達日数 (日)	草丈 (cm)	総 収量 (kg/a)	上物 収量 (kg/a)	上物 率 (%)
ベルホープ	93	82	82	502	411	82.0
ベルホマレ	90	83	83	509	400	79.0
ベルマサリ	92	82	87	513	421	83.0

注1) 穂木品種は「京ゆたか」とし、接ぎ木はピン接ぎにより行った。

注2) 開花始期：第1花開花までの播種後日数を示す。

注3) 草丈：収量調査終了時に調査した。

※ 販売種子は第3 磷酸ソーダ液による洗浄を実施済みです。

※ 種子は当センター会員の全国農業協同組合連合会長野県本部及び各 J A 並びに長野県種苗生産販売協同組合各種苗店を通じ販売しております。

一般社団法人 長野県原種センター

長野市松代町大室 2 4 1 7 - 3

TEL 026-278-9229 FAX 026-278-9369